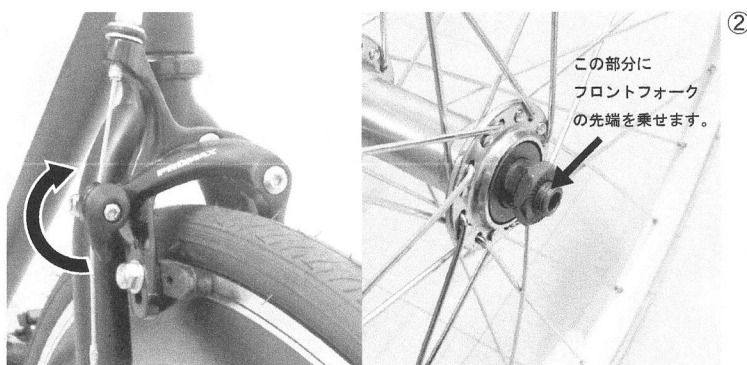
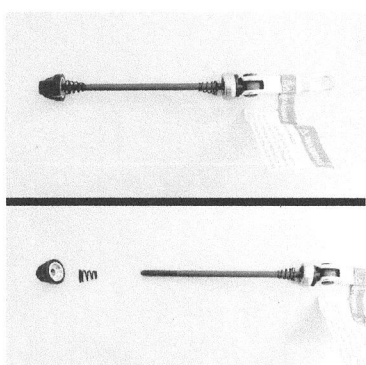
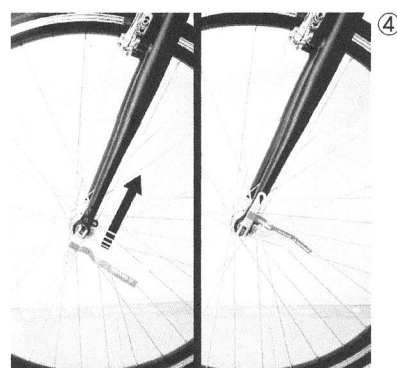
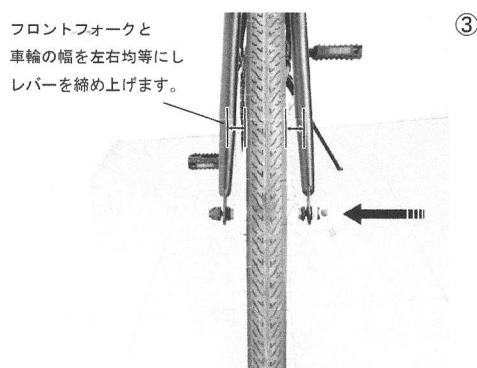


A black and white photograph showing a single open-end wrench and three hex keys (Allen keys) of different sizes. The tools are arranged vertically on a light-colored wooden surface with a visible grain. The wrench is on the left, and the three hex keys are on the right, with their handles pointing upwards.

- ※機種によって工具の個数、形状が異なる場合があります。

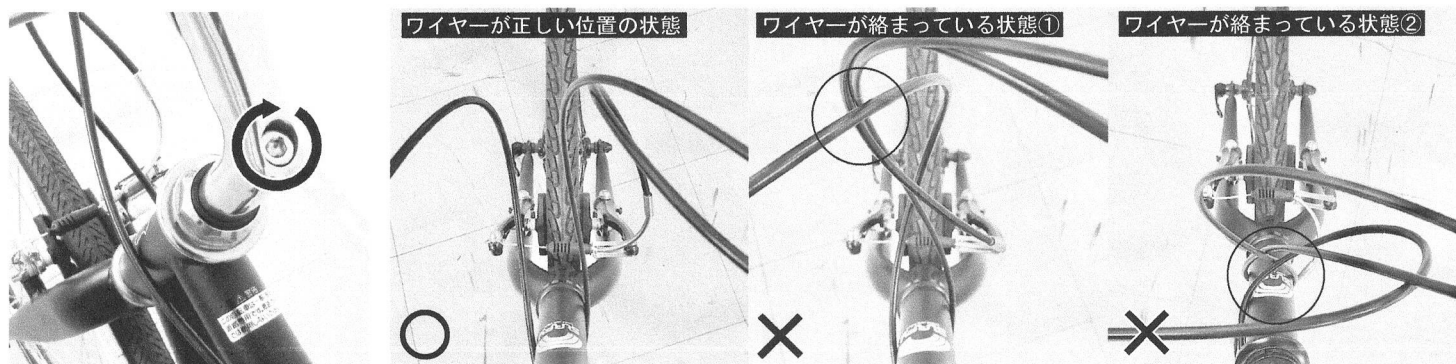
[illegible]

- 画像のレバーを持ち上げブレーキを一旦緩めます。
※ブレーキを緩めても入りにくいときは
一旦タイヤの空気を少しだけ抜いて装着してみてください。



- 最後にレバーをフロントフォークに沿って持ち上げます。
※てのひらを使って閉め込む具合のかたさが目安となります。
※ブレーキを戻した際に両側のブレーキパッドが
触れていないかチェックします。
(ブレーキパッドが触れている場合、タイヤが斜めに
装着されている可能性があります。)

【ハンドルの取り付け】

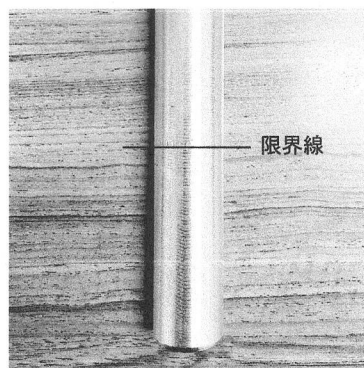
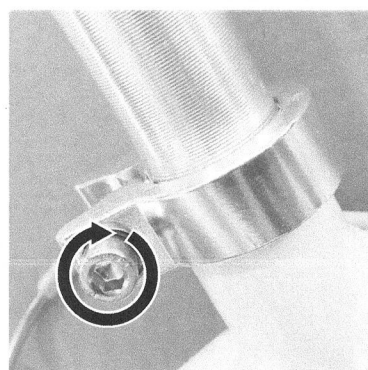


●画像を参照しブレーキやシフトのワイヤーが絡まないように注意して下さい。

ワイヤーの正しい位置を確認したらハンドルを差し込み、工具を使いハンドルをしっかりと締め上げて下さい。

※限界標識の斜線が隠れるまでハンドルを差し込み、隠れる範囲で高さ調整して下さい。

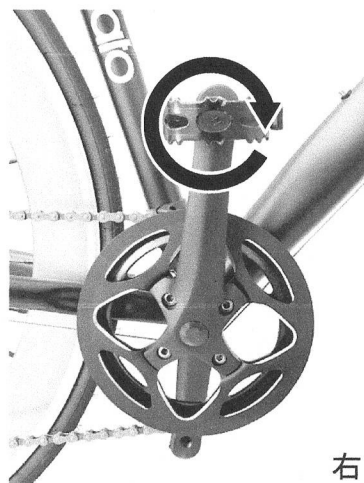
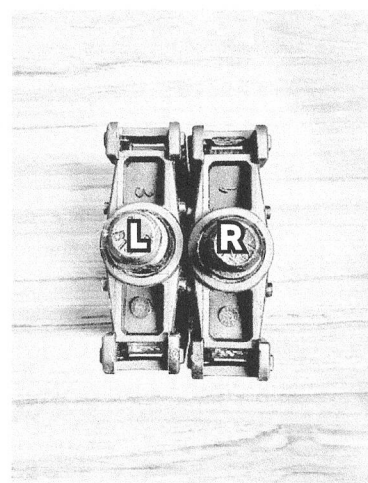
【サドルの取り付け】



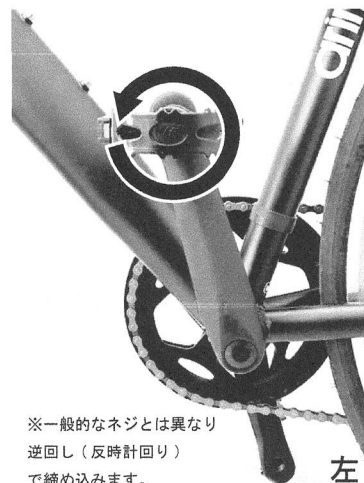
※新しいモデルより「シートクランプ」が
レバー式からボルト式に変更となっております。

●「限界標識」の斜線がありますので
隠れる範囲で高さを調整し
六角レンチを使いしっかりと締め上げて下さい。

【ペダルの取り付け】



右



左

※一般的なネジとは異なり
逆回し（反時計回り）
で締め込みます。

●ペダルの軸の刻印で右用 (R) 左用 (L) を確認します。

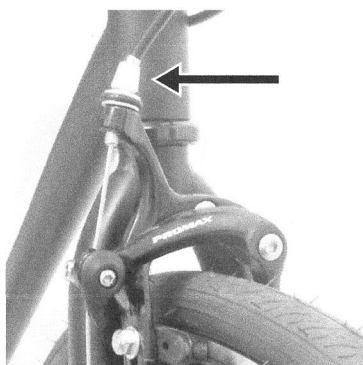
工具を使い図のように右ペダルは時計回り、左ペダルは反時計回りにしっかりと奥まで締め上げます。

※最初は手で回し、途中から工具で締めます。最初から工具で締めると角度が悪いままに締まり
クランク側のネジ山が壊れる可能性がありますのでご注意下さい。

※ペダルは奥までしっかり締めて下さい。ペダルが緩いまま乗車することでクランク側のネジ山が破損する
可能性がありますのでご注意下さい。

【その他の調整】

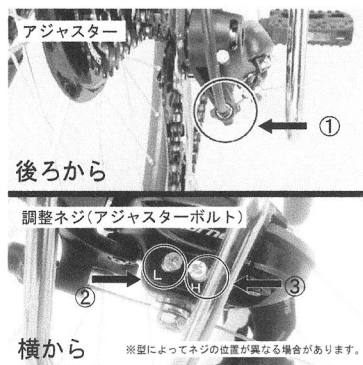
- ・片方のブレーキパッドがリムに付いた状態。など
- ・ギアの調整



●矢印のケーブル調整ナットで調整します。

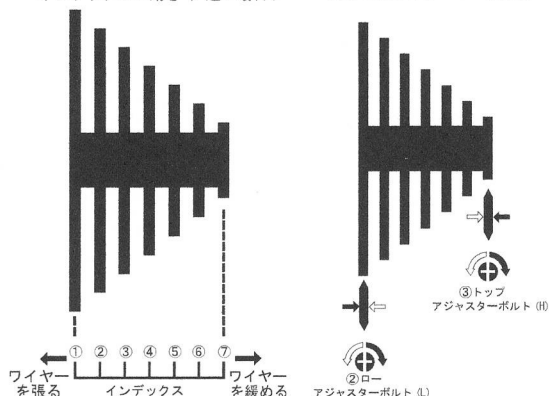
※時計回りに締めるとワイヤーのテンションが弱くなり
反時計回りに緩めるとワイヤーのテンションが強くなります。
両方のブレーキパッドが均等になるよう調整下さい。

※+ドライバーをご用意きセンタリング調整ネジで
微調整も可能です。



※アジャスター①で調整した時の
インデックスの動き (7速の場合)

※アジャスターボルト②、③で
調整した時のプーリーの動き



【シフトワイヤーのテンションが緩い場合の症状】

- ・1速に入らない
- ・小ギア→大ギアへ変わりにくい (7速から6速にチェンジしにくいなど)

●調整方法 ①のアジャスターを反時計回りに回します。(ワイヤーを張ります)

【シフトワイヤーのテンションが強い場合症状】

- ・7速に入らない
- ・大ギア→小ギアへ変わりにくい (1速から2速にチェンジしにくいなど)

●調整方法 ①のアジャスターを時計回りに回します。(ワイヤーを緩めます)

※少しづつ (1/4回転ほど) 回し、確認しながら調整下さい。

※症状によりますが、まずは①のアジャスターで調整下さい。

①のアジャスターで改善しない場合は②、③の調整ネジ(アジャスターボルト)をお試し下さい。

【乗る前の最終チェック】



前ブレーキが前方(進行方向側)
が正しい位置です。

- フロントフォークが前後逆に装着されていませんか？

間違った組立のまま走行されますと事故や破損の原因にもつながりますので上記画像をご参照の上、正しく組立下さい。

- ペダルはしっかりと固定されていますか？

ペダルの装着がゆるい状態で走行されますとネジ山の破損(ペダルがぐらぐらになる)原因につながります。

- 前輪クイックリリースレバーはしっかりと固定されていますか？

ゆるすぎると脱輪の原因になります。最後にレバーを手のひらを使って締め上げる程度の力加減で締め上げて下さい。

- タイヤの空気圧は十分ですか？

商品到着時は必ずしも十分に空気が充填されているとは限りません。

空気圧が低いまま乗車されるとパンクの原因となりますのでご注意下さいませ。

- ・製造工程上の理由より商品に細かな埃のようなものが付着している場合がございます。
予めご了承下さいませ。
- ・入らない、動かないなどが御座いましたら決して無理をしないで下さい。
(組立時に破損した場合は保障対象外となりますのでご注意下さい。)
- ・初めてご乗車される際には必ず交通量の少ない道路で低速での慣らし走行を行って下さい。
誤ったご使用による事故および破損は保証外となりますのでご注意下さいませ。

取扱説明書をご参考頂き正しいご理解と安全なご使用をお願いいたします。
その他、ご不明な点など御座いましたら右記宛にご連絡下さいませ。

ANINTO アニマト株式会社

〒570-0043 大阪府守口市南寺方東通 5-23-3

営業時間 10:00 ~ 17:00 (土日祝を除く)

TEL: 06-6996-3800 FAX: 06-6996-3801

E-Mail: info@animatocycle.com

URL: http://animatocycle.com